資料６（佐世保若者サポートステーション）

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況

取 組 年 度	令和３年度
支 援 対 象 者	（２）長期にわたり無業の状態にある方
目　　標	就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携し、職業的自立支援につなげることを目標とする。

ＫＰＩ項目	目標値
サポステの支援により就労等につながった割合	35%
サポステレベルが上がった方のレベル数	300レベル

【令和３年度取組状況】

・ひきこもり家族交流会　令和3年度11月2日開催　平戸市未来創造館
・セミナー　「氷河期世代を楽しんでいきる」佐藤洋作氏(NPO法人文化学習共同ネットワーク理事長)
　令和4年2月12日開催
・巡回相談会　江迎町　12回　生月町　7回　西海町　7回　平戸市　1回　川棚町　3回
　波佐見町　4回　壱岐　24回　対馬　24回
・グループワーク　花壇里親ボランティア　12回　スポーツ交流　10回　職場見学　3回
　ヨガ　4回
・就職氷河期世代就労人数　4名

佐世保サポステでは、前年度に比較し巡回相談に重点を置いてきました。佐世保から直接支援が難しい壱岐・対馬地区には専門の在駐スタッフ・専用ダイヤルを設置し、相談しやすい体制づくりに取り組んでおります。また、毎月のハローワーク江迎・平戸・松浦出張相談会だけでなく、生月町や西海市のような遠方地区への巡回相談にも取り組むようになりました。11月には平戸地区で無職状態の子どもについて悩んでいる家族の交流会を開催し、受託団体が変わったことによって、新たな体制になったサポステの周知広報活動の機会にもなりました。

佐世保サポステで実施しているグループワークにおいては、他者とのコミュニケーションが困難な方が多く、そういった方でも参加しやすいスポーツ活動やボランティア活動を中心に行いました。

そして、令和4年2月には佐藤洋作氏による「氷河期世代を楽しんでいきる」というセミナーを開催いたしました。氷河期世代の当事者の方・保護者の方に向けて、“就職氷河期世代でも悲観的になることはない”と講師の先生から温かく深いメッセージをいただきました。就職氷河期世代の方の支援は無業状態の長期化や就労の挫折による自己肯定感の低下など若年無業者とはまた異なった根深い問題が多く、当事者の方それぞれの背景を深く理解しながらの支援が必要となってきます。現状、レベルアップの・就職等数の実績は目標に及んでおりませんが、まず広報活動による新規登録者数の増加を図っております。

【令和４年度取組状況】

・巡回相談会（予定回数）　江迎町　12回　西海市大島町　12回　生月町　12回　波佐見町　4回
川棚町　4回　東彼杵町　4回　平戸市中部　8回　西海市西彼町　8回
壱岐　24回　対馬　24回　福島町　1回

・グループワーク　スポーツ交流　12回　ウォーキング　4回　折紙　3回　塗り絵　2回
ペーパークラフトワーク　2回　指編み　1回　美文字を学ぼう　3回
電話応対　3回　ビジネスメールを学ぼう　3回　合計33回

昨年度の佐世保サポステでは、広域に及ぶ県北地域の支援をカバーできるよう巡回相談に力を入れてきました。佐世保からは直接支援が難しい壱岐・対馬地区には現地に在駐スタッフを設置し、オンライン面談などを設けることで相談しやすい体制づくりを行ってきました。今後は、ハローワークとの連携を強化し、就職氷河期世代のうち長く無職者の方々それぞれに合わせた支援を図っていくよう考えております。

長期にわたり無業状態の方の支援は大変困難ではありますが、本年度の年間113回を予定している巡回相談を行うことにより、佐世保サポステの事務所への来所が難しい当事者の方・保護者の方にとっても、来所のハードルを低くし、さらなる相談体制を整えたいところです。そのためには、地域のネットワークなどの社会資源も有効に活用し、関係機関とともに就職氷河期世代の方の支援に取り組んでいきます。

また、他者とのコミュニケーションが困難なため、グループワークに対して苦手意識が強い当事者の方にも参加を促しやすいプログラムを実施するとともに、就労後すぐに実践し役立てることができる実践的グループワークを行っております。

同時に、就職氷河期世代の方は転職が多く、自分の適職を見つけられないまま過ごしてきた方もしばしば見られます。そこで適職診断（ＧＡＴＢやキャリアインサイト）を導入し、ご自身の適性を見つめ直す機会を提供しております。さらに職種や職場環境のミスマッチによる早期退職を防ぐため、職場体験の実施を積極的に行い、定着支援も同時に行えるようなプログラム構築にも尽力していきます。

令和4年度になり、地域の広報誌などへの掲載で広報活動を強化したところ、就職氷河期世代の方の新規登録者数が増えていることを体感しております。今後は、上記のような施策をもとにレベルアップ数の増加はもちろんのこと、就職等数の増加を図ることを重点項目として取り組んでまいります。

ＫＰＩ項目	実績累計	進捗率
サポステの支援により就労等につながった割合	27.9%	79.7%
サポステレベルが上がった方のレベル数	66レベル	22.0%

令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績(6月末)
31.0%	31.0%	10.3%
25レベル	37レベル	4レベル

※令和４年度は７月末の長崎・佐世保若者サポートステーションの合計実績になります。